

大きなお芋ができますように

白羽幼稚園の年長園児29人が6月6日、白羽区の畑でサツマイモのつるさしを体験しました。園児らは、わんぱく農園振興会の人に「どのくらいまで埋めるの？お水はこれくらい？」などと聞きながら丁寧につるさしと水やりをしていました。



地域に開かれた校舎を

浜岡中学校の建て替えの在り方を考える第1回改築検討委員会が6月9日、市役所で開かれました。委員には同校の校長やPTAのほか、地域代表などの市民も参加して話し合い、「子どもたちが夢を持てるような校舎を」などの意見が出されました。



笑顔で力を合わせた運動会

ふれあい運動会が6月17日、市総合保健福祉センターで開催され、第一小学校3年生29人と同センター利用者35人が参加しました。児童と利用者の混合チームで紅白に分かれ、仮装ゲームや玉入れなどの競技を、勝利目指して一緒に楽しみました。



組織を越えた協力・連携を

市危険物安全協会と市消防署が6月8日、新野川河口で危険物流出拡大防止訓練を実施しました。訓練では、重油が漏えいし、新野川から遠州灘へ流出が拡大する恐れがあるという想定で、それぞれの団体が手順や連携を確かめました。



新しいプールで初泳ぎ

白羽小学校のプール開きの会が6月14日、同校敷地内に新設されたプールで開かれ、全校生徒約300人が参加しました。6年生の増田紗弓さんが代表して「小学生最後の年に新しいプールを使えてうれしいです」と感謝の言葉を述べました。



市政を支えた7年3カ月

澤入芳男前副市長が6月30日をもって退任されました。澤入前副市長は退任あいさつで、「第2次総合計画が始まった今、市がますます発展するように尽力してほしい」と話しました。退任式後、大勢の職員から温かい拍手で見送られ、市役所を後にしました。

